

※右のような電話はすべて『サギ』です。

- ①『サギ』被害を避けるためには、留守番電話の機能を有効に使ってください。電話会社(NTTなど)や電話機メーカーに、有効にする方法を尋ねてください。
- ②万が一受話器を取ってしまい、右のような話が出たら、そのまま黙って電話を切ってください。

※『訪問販売を撃退！誰でもできる訪問販売の断り方』をインターネットで見つけたので、紹介します。

【訪問販売の「マーキング」に注意】

しつこい訪問販売にうんざりしている方も多いのではないのでしょうか。今回は、何度断っても聞いてくれない、買うまで帰る素振りを見せないなど、困った営業を撃退する方法について解説します。

まず、「マーキング」に注意しましょう。これは、訪問販売員どうしが情報共有をする暗号で、表札の下や、玄関の目立たないところ、ガスメーターなどに、油性マジックで書かれることが多い印です。

- ☆……金持ち、押せば買う
- ……高齢者が住んでいる
- K……断られた

など、訪問販売に使える個人情報が書かれています。マーキングをされている家は、訪問販売員から「目をつけられている」と考えていいでしょう。留守の時間帯や家族構成なども書かれており、空き巣の情報源になることもあります。もし、玄関や表札にこのようなマークを見つけたらすぐに消しましょう。

【一番の対策は「ドアを開けない」こと】

訪問販売を撃退する1番の方法は、ドアを開けないこと、応答しないことです。カメラつきインターフォンであれば、ある程度の目星はつくでしょう。明らかに訪問販売であれば、居留守を使っても問題ありません。カメラ付きインターフォンでない場合、玄関先に入れる前に、必ず相手の情報を確認しましょう。ポイントは、相手の社名と個人名を聞き出すことです。相手の素性と目的が分かれば、家に上げるべきかそうでないか、はっきりするでしょう。訪問販売であることが分かったら、キッパリ断りましょう。

健康・仲間づくりのために「歩こうクラブ」に入りませんか!?

「日限山歩こうクラブ」は子どもの見守り、防犯パトロールなどのボランティア活動もしていますが、地域の“仲間づくり”の場でもあり、健康増進のための『万歩会』も実施しています。5月18日には17名が参加して、江の島～辻堂海浜散策をしてきました。(右の集合写真は、小田急江ノ島駅前)

コロナ禍で、密を避けなくてはならず、なにかと制約が多い日々が続きますが、家にばかり閉じこもらず、屋外で体を動かして、人と接する機会を少しでも多くもちたいものです。

※入会をご希望の方は☎824-0085 (代表：齊藤亮4ブロックE班) まで。

